



笹 渕 峰 尚
(黎明親和会)

メタバースを活用したまちづくりを

市DX推進ビジョン等の 見直しに合わせ検討

問 メタバースとはインターネット上の仮想空間のことで、今後多くの産業や分野での利用が期待されるが、まちづくりへ活用する考えは。

答 導入自治体によって事業規模や必要経費、対象者等が大きく異なり、各事例や特徴等について十分に情報収集を行う必要があることから、今後の市DX推進ビジョンやアクションプランの見直しに合わせ、検討したいと考えています。

問 これまでのスポーツ合宿事業の取組実績は。

答 令和2年度から令和4年度まで、アネックススポーツランドを活用した助成事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用実績はありませんでした。

問 今後、やり方を変えるなど工夫し事業化へ取り組む考えはないか。

答 利用する側のニーズに合っているか、施設の優先利用による市民への影響など、様々な課題があることから、必要に応じて先進事例などの状況を調査研究したいと考えています。

問 青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポの進捗状況は。

答 実行委員会や各関係機関と連携し、宿泊や交通の課題に取り組むなど、全体として予定どおりに準備が進められています。

問 市民の機運醸成を図る取組と効果は。

答 著名な方を講師に招いたサッカーやバスケットボール教室の開催や、スポーツ教室などのイベント時にPRチラシの配布、公式 Mascot であるアップリート君の着ぐるみによるPRを行うなど、大会に向けた機運醸成を図っています。イベントに参加した市民からの反応は良好で、一定の成果はあったと考えています。



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

風力発電事業 バードストライクの懸念は

被害が低減されるよう伝える

問 （仮称）惣辺奥瀬風力発電事業の建設予定地は猛禽類等の生息地であり、バードストライクが懸念される。計画段階環境配慮書に対する環境大臣の意見にも「鳥類への影響を回避又は極力低減すること」とあるが、市の見解は。

答 市では、事業者が市内で風力発電施設を建設するに当たり、環境保全、景観形成等の関係法令を遵守し円滑な事業実施を図るため、十和田市風力発電施設建設ガイドラインを策定し、基本的な考え方や調整手順、事業説明会の説明事項等の方向性等を示しています。（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業における動植物への影響については、事業者からの環境影響評価により猛禽類等についても調査されていると聞いていますが、被害が低減されるよう、市としても意見を伝えていきたいと考えています。

問 十和田市まちづくり基本条例第23条では、住民の意思を問う必要があるときは住民投票を実施するとあるが、風力発電事業に対して住民投票を行う考えは。

答 自然・地域と再生可能エネルギーとの共生については、現在県で検討中の新たな共生制度の中で意見交換会や住民説明会などが新たに実施される予定で、住民との合意形成プロセスが制度化されるため、現時点では住民投票を行う考えはありません。

問 就職や求職活動、家事もしていない若年無業者に対する対策は。

答 若年無業者は様々な原因や課題を複合的に抱えている場合が多く、悩みや困り事、生活困窮などに関する相談と関連して関係各課で相談を受けているほか、市ホームページで、悩みに応じた相談窓口の情報を周知しています。